

木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 会議経過要旨

会 議 名		平成 28 年度第 1 回木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会		
日 時		平成 28 年 7 月 11 日（月） 午後 3 時～5 時	場 所	木津川市役所 5 階 全員協議会室
出 席 者	委 員	【第 1 号】 ■福本 桂子委員、 □山川 博一委員 【第 2 号】 ■真山 達志委員(会長)、 ■今里 佳奈子委員(副会長) 【第 3 号】 ■市川 浩之委員、 ■中村 香苗委員、 ■川森 昌代委員、 ■北島 宣委員、 ■井上 靖委員、 ■迫田 隆委員、 □久保田 文子委員、 ■七條 歩委員、 □佐脇 貞憲委員、 ■西村 正子委員、 □三上 かず子委員、 ■加藤 千景委員、 ■梅本 好成委員、 ■佐藤 啓子委員、 □大倉 竹次委員、 ■山本 勇人委員		
	事 務 局	福島政策監、尾崎マチオモイ部次長、 茅早企画政策係長、藤木企画政策係主事		
議 題	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 （1）創生事業の効果検証 ①地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）活用事業 ②地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）活用事業 （2）報告事項 ①地方創生加速化交付金活用事業について ②地方創生推進交付金申請事業について ③木津川市ふるさと応援事業補助金について 4. 閉会			
会 議 結 果 要	1. 開会 事務局から開会を宣言した。 事務局から人事異動による委員の交代(中島浩之委員→迫田隆委員、湯瀬敏之→山本 勇人委員)を報告した。  2. あいさつ 開会に先立ち、市長から挨拶があった。			

	<p><b>3. 議事</b></p> <p>会議録の署名委員として川森委員を指名した。</p> <p>(1) 創生事業の効果検証</p> <p>①地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）活用事業について</p> <p>②地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）活用事業について</p> <p>「資料1 木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業施策実施結果について」に基づき、事務局から報告があり、承認した。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①地方創生加速化交付金活用事業について</p> <p>「資料2 地方創生加速化交付金について」に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p>②地方創生推進交付金申請事業について</p> <p>「資料3 地方創生推進交付金について」に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p>③木津川市ふるさと応援事業補助金について</p> <p>「資料4 木津川市ふるさと応援事業補助金採択事業について」に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p><b>4. 閉会</b></p>
<p>会議経過要旨</p> <p>◎会長 ○委員 →事務局</p>	<p><b>1. 開会</b></p> <p>会議結果要旨のとおり。</p> <p><b>2. 市長あいさつ</b></p> <p>昨年度、策定した「木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、木津川市創生事業に取り組んできた。主な事業内容として、一つ目は、国内外に向けた市の魅力を発信し、企業誘致及び観光振興、そして市の知名度の向上を図ることを目的に、市のプロモーション映像の制作に取り組んだ。3月末に公開し、すでに視聴回数が、4,000件を超えており、今後もこの映像を活用し、市のPRに取り組んでいく。</p> <p>次に、これまで、子育てに関する情報などは、市ホームページや広報紙を用いて発信してきたが、必要な情報を必要な時に入手したい、また子育て世帯同士の交流をしたいなどの意見が多くあり、これらの課題解決に向け、市民のみなさまにご協力をいただき、子育てアプリ「きづがわいい」、また観光アプリ「きづがわなう」の制作に取り組んだ。</p> <p>最後に、昨年この推進委員会やワークショップで提案していただいた市の</p>

魅力発信を高めるための事業や、市民のみなさまと協働したまちづくりを進めるため、市内で頑張る個人・団体から、様々な知恵や発想、郷土愛等を活かした新たな事業の提案を募集し、提案者が主体となって取り組む事業に対し、補助金を交付する「木津川市ふるさと応援事業補助金制度」を創設した。

この制度には、6団体から提案があり、その全ての事業を採択した。今後は、市の魅力発信や地域活性化に向けて、事業効果が表れることに期待している。

「木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進するため、皆さまでともに、オール木津川市で新たな施策展開に取り組み、子や孫の世代に負担をかけることなく、「住みたい。住み続けたい。住んで良かった」と実感いただけるまちづくりに取り組んでいく。

### 3. 議事

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、→…質疑・意見に対する返答）

#### （１）創生事業の効果検証

①地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地域消費喚起・生活支援型）活用事業

②地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）活用事業

○木津川アートのプレイベントとして実施した「山城町森林公園音楽フェスティバル」は、若者たちに「山城町にはいい場所があること」を知ってもらう目的で実施した。木津川アートは、来場者数などの KPI 達成のために実施しておらず、木津川市にはいい場所があることを認識してもらうなど、気持ちに触れるために実施している。参加者数などで事業の達成、未達成を判断できないのではないか。

福祉医療費（子育て）助成事業は大変いい事業だと思う。このような支援があると、病院に行きやすくなり、重大な病気を見過ごすことが減少するのではないか。もっとこの事業をアピールし、充実させる総合戦略にしていきたい。

◎木津川アートは、KPI で事業の効果を判断できない点もある。KPI として数値化する問題点もある。効果という点では、木津川アートに参加した人にしか分からない事もあり、数値化するのは難しい。この様な事業は継続することに意味があるので、今後も継続していただきたい。

福祉医療費（子育て）助成事業については、KPI は達成しているが、行政の自己満足で終わるのではなく、多くの人に周知しなければならな

い。市内だけでなく市外にも情報発信し、木津川市の取組事業をアピールしていただきたい。

○安心・安全防犯カメラ設置事業について、市内に 12 基設置したとのことだが、防犯カメラの設置場所はどこか。

→手元に資料がないため、不明であるが、設置場所については、地域の自治会と調整を行い、調整が終わった箇所から設置を行った。

○防犯カメラは、予算の都合もあるかと思うが、犯罪抑止に役立つため、もっと設置したほうがいい。将来に役に立つ防犯カメラの設置事業を進めていただきたい。

○コンビニ等の防犯カメラと相互補完により全体をカバーできる。ただしプライバシーの問題もあるため、地域の自治会と調整が必要である。防犯カメラの設置に関する規定はあるのか。

→本事業は、危機管理課が所管である。また、設置について、防犯カメラの適正な設置及び運用に関する条例及び施行規則により定めている。

○子どもが 3 人以上いる世帯にプレミアム商品券の支給や、福祉医療費（子育て）助成事業は他の自治体も行っている事業であるが、木津川市独自の要素はあるのか。

また、福祉医療費（子育て）助成事業は、今後も継続して実施していくのか。

→プレミアム商品券については、1 冊ではなく 2 冊支給していること、福祉医療費（子育て）助成事業については、所得制限を設けず取り組んでいるなど、他の自治体と差別化を図っている。

なお、福祉医療費（子育て）助成事業は、今後も継続して実施していく。

○当尾の郷会館について、観光商工課主導の活性化委員会で活用方法の方針案をとりまとめた。一方、教育委員会からも活用方法について相談を受けた。行政、委員会、地域の方の動きがバラバラになっていると感じている。将来的に木津川市はどのように関わっていくのか。

公衆無線 LAN 環境整備は、どのように整備したのか。

→地方創生の交付金は、将来的に自立できる事業を支援する内容であり、これを活用し、市として支援を行っていく。また、事業実施する際は、法的な調整が必要になることもあるので、市役所内や京都府との調整を行い、事業が達成できるよう支援する。

公衆無線 LAN 環境整備は、主に観光地や市内公共施設で、インバウンド観光客の誘客のための整備を行った。

◎地域住民のアイデアを地域主体で実施していくことが理想であるが、現

実はそうはいかない。公共施設は、様々な制約や法的な規制があるが、それを乗り越えていかないと総合戦略の推進にはならない。行政は、出来ないことをどう工夫すれば、出来るようになるかを考えていかなければならない。

## (2) 報告事項

### ①地方創生加速化交付金活用事業

○お茶の京都 DMO は、京都府が進めている事業と同じものか。

→同じである。

○加茂駅は、和束町や笠置町に行く方の観光窓口となっている。駅員が1人体制となり、最近では窓口が不在になることもある。キヨスクの場所を観光案内所に活用できないか。

→関係課と協議を行い、検討したい。

○新規就農者は増えていると感じている。活用したい事業であるが、新規就農者には敷居が高い。代々農家をしている人が活用できる補助事業となっている。地域の魅力発掘を目的とするならば、新規就農者にも支援をお願いしたい。

→関係課と協議を行い、検討する。

### ②地方創生推進交付金申請事業

【意見、質疑なし】

### ③木津川市ふるさと応援事業補助金について

○ふるさと応援事業補助金の財源は加速化交付金を活用しているが、次年度以降の財源はどうするのか。

→地方創生推進交付金の活用を考えている。

○ふるさと応援事業補助金について、採択された事業はどのように審査されたのか。次年度以降はどのように審査するのか。

→申請の際に、申請書、予算書及び過去の実績などの概要を提出してもらい、審査会において審査した。次年度以降の審査については、今年度実績報告書を提出していただき、継続性があるか等を審査する。

## 4. 閉会